

## 令和六年度入学式 式辞

先週末のお花見日和から一転、今日はあいにくの雨天となりましたが、何年ぶりで桜が咲き誇って皆さんの入学を祝福しているようです。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。東京都立杉並高等学校第72回入学式を挙げるにあたり、ご来賓の皆様には、ご多用中にもかかわらず、ご臨席を賜り、誠にありがとうございます。おかげさまをもちまして、このように盛大な入学式を挙げることを厚く御礼申し上げます。また、ご出席いただきました保護者の皆様、お子さまの入学を心よりお祝い申し上げます。ただ今、入学を許可いたしました319名の生徒の皆さんを確かにお預かりいたしました。本校の教職員を代表いたしまして、私どもの持てる力を最大限に発揮し、これから三年間、充実した学校生活を送れるよう、指導に当たりますこととお約束いたします。

ただいま入学を許可いたしました新入生の皆さん、皆さんは今、この晴れの日であって、本校での学校生活に、様々な期待をもち、胸を膨らませていることと思います。学習や部活動の成果は、それに臨む目的意識を持っているかどうかで決まります。学習や部活動のねらいの理解度も、学んだことを応用する力も、そして学力や技能の向上も、目的意識をもっている人の方が圧倒的に高いことが研究で証明されています。皆さんには、学校はワクワクする所、学ぶことは楽しいという実感がもてるようになってほしいと願っています。学習、学校行事、部活動など、様々な体験や友人との切磋琢磨を通して、人間として大きく成長してほしいと考えています。

さて、新入生の皆さんは第72期生として3年間本校で学校生活を送ります。杉並高校の教育目標は「自主・素直・気魄」です。本校で過ごす3年間を通して、高い知性、広い視野、強い意志を育み、自主自律の精神と豊かな想像力を養いながら、将来、国際社会に貢献できるリーダーとして成長してくれることを期待しています。本校では「水滴石穿」（すいてきせきせん）という言葉掲げて教育活動に取り組んでいます。「水滴石穿」とは、軒下から落ちる僅かな水滴でも、長い間、同じ所に落ち続けると、ついには固い石にも穴をあけてしまうことから、たとえ非力であっても、根気よく続けることで、大きな成果を成し遂げることが出来ることを表す故事成語で、「継続が重要である」ことを伝える際に用いられます。小さなことから、日々コツコツと積み重ねる努力を日頃から心掛けてください。

本日は、新入生の皆さんに、二つのこととお話しします。

第一に、現在、日本は少子高齢化が進み社会構造が大きく変化し、AIの飛躍的に発展し産業・経済にも大きな影響を及ぼしています。ひとたび世界に目を向ければ、戦争や紛争、地球温暖化、異常気象、複雑化する国際情勢など、世界規模の課題を抱えた予測困難な状況・時代になっています。それを、VUCA時代、ブーカ時代と呼び、変動性、不確実性、複雑性、曖昧性という時代の特性を表す言葉の頭文字をとって名付けられました。本校のスクールミッションは、「豊かな国際感覚を備え、より高い目標に向かって挑戦し、多様性を尊重して共生社会の中で積極的に社会的役割を果たす人材を育成する。」ことです。したがって、世界の平和や世界規模の課題解決に貢献することのできる人材を一人でも多く育成することを目指しています。皆さんには、東京都という地域社会に貢献するにとどまらず、世界にも目を向け、高い志をもってグローバルな視点で物事を考えて、行動することを期待しています。

第二に、本校の目指す学校像は、「豊かな国際感覚を備えたグローバル人材を育成する学校」です。グローバル人材とは、ブーカ時代の中で世界に向かって挑戦する人であること、自分の専門分野、あるいは関心・興味のある分野をもち、それを自分の探求テーマとし、常に追究する人のことであると考えます。今後は文理融合の時代が訪れ、科学的な視点をもたなければ世界規模の課題は解決できません。新入生の皆さんには、例えば「平和」「平等」「貧困」「環境」「生命」など、大学へ行って自分が研究し、解決したい探究テーマを高校3年間で考えて、見つけて欲しいと願っています。知識を身に付けるだけでなく、学ぶ姿勢や自ら課題を見つけ正解のない問いに向き合う探究する方法を身に付けて欲しいと考えています。

ここで皆さんに、千葉 敦子（ちば あつこ）さんの言葉を、饞に送ります。千葉さんは、ご自身が癌に侵され、死に至るまで自らの闘病記を出版し続けた NY（ニューヨーク）で活躍したジャーナリストで、女性が社会で活躍するための生活術や仕事術、日本人論などについての著書があります。ここで紹介する “The Sky Is the Limit 「限界は天高くに」” の一節で、原文は英語ですが、日本語で紹介します。

自分の潜在能力を、決して過小評価しないでください。

本気になって物事に取り組んだとき、こんなことまで出来る力があったのか、と自分自身驚くことがあるものです。

すぐにあきらめたりしないでください。

また、向上心に水を差す他人の言葉には、耳を貸さないでください。

自分の目標を高く掲げ、今できることから第一歩を踏み出すのです。

そして、限界は天高くにということ、いつも忘れずにいてください。

～「若いあなたへ！」（千葉敦子著）より～

千葉さんは命を懸けて、「あなたは何にだってなれる。天空に限りがないように、あなたの可能性に限界はないのだ」と語りかけています。

“The Sky Is the Limit.” を忘れずに高校お生活を送ってください。

結びに、授業をはじめとする教育活動の充実・改善には、保護者の皆様のご理解・ご協力が不可欠ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。また、学校の教育活動に加えて、PTA、同窓会、杉香会、地域の皆様のご理解・ご協力も併せてお願い申し上げます。ご来賓の皆様におかれましては、杉並高校は今後も有為な人材の育成に努めてまいりますので、引き続き、本校へのご指導・ご助言をよろしくお願い申し上げます。

新入生の皆さん、皆さんが実りのある高校生活を送ることを祈念して、私の式辞といたします。

令和六年四月九日

東京都立杉並高等学校 校長 高橋 聡